

次号予告

特集 日本製造業の知恵

経済の原点・技術……………唐津 一(東海大学)

「知恵」の「進化」が求められる
……………岸田純之助(日本総合研究所)

ニュー・ハードウェアとホロニック・パス
……………石井威望(東京大学)

テクノヘゲモニーと日本の技術
……………薬師寺泰蔵(埼玉大学)

製造業と人材育成
……………今井兼一郎(日本工業技術振興会)

オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長	高森 寛	青山学院大学
副委員長	高井 英造	三菱石油㈱
委員	相沢りえ子	㈱構造計画研究所
	上野 哲郎	関東学園大学
	大村 雄史	住友商事㈱
	片山 隆仁	防衛庁
	川合 庸一	川合産業研究事務所
	川野幸三郎	日本ユニカー㈱
	木嶋 恭一	東京工業大学
	新村 秀一	住商コンピューターサービス㈱
	町原 文明	日本電信電話㈱
	宮田 雅智	青山学院女子短期大学
	矢部 博	東京理科大学

編集後記 ●「OR辞典」(日科技連)によれば「システム・ダイナミックスは物や情報の流れ、貯蔵または蓄積、決定などを規定したうえで、システムの状態が時間的にどのように変化してゆかかを調べるもので、企業経営に適用するものをインダストリアル・ダイナミックス、都市や世界の状態の変化を予測するものをアーバン・ダイナミックスあるいはワールド・ダイナミックスという」とあります。今回は、SDの最近の話題とモデリング支援システムの現状を紹介していただきました。SDの可能性と限界を読みとっていただければ幸いです。

ワールド・ダイナミックスといえば、この2年間に於ける世界情勢の変化には目を見張るものがあります。ここ数十年の間、常識とされていた世界情勢の構図が次々と書き換えられ、中国・天安門事件、そしてソ連のペレストロイカがひとつのきっかけになって、ルーマニアや東ドイツなどに代表されるような、東欧諸国での激変が

相次ぎました。また、ソ連といえども例外ではなく、共産党独裁体制が崩壊しました。しかしこのことは、必ずしも資本主義を正当化するわけではなく、アメリカをはじめとする資本主義国にもそれなりに多くの問題点が内在します。このように複雑な状態を科学的に表現することは、非常に難しいことだと思います。そして、ことは政治問題のみならず、民族問題、経済問題、さらに環境問題などの立場から総合的に評価しなければなりません。適用分野としてはあまりにも巨大すぎるけれども、前向きにとりくむのがORワーカーの勤めなのでしょう。

世界はいま、「相互理解と協力」をめざして動き始めています。そうした情勢の中で、日本はいかにあるべきかが問われています。特に、アジア圏の一員としての日本の役割は重要です。学術的な交流もその一つです。日本OR学会としてもその一端を担っているわけで、APORS等への協力もその活動の表われです。(矢部博)

本誌に記載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

オペレーションズ・リサーチ

平成2年10月号 第35巻 第10号 通巻358号

代表者 岡 久雄

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル
電話 03-815-3351(代) FAX 03-815-3352 〒113

編集人 高森 寛

発行所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

●本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 950円(本体922円, 郵送料含)年間予約購読料10,800円(税・郵送料含)

●本誌への広告お申し込みは明報社(546-1337)、日経弘報社(563-2241)へ